

# 2011年3月期 第2四半期 決算補足資料

1. 決算概観	p. 1
2. 第2四半期 業績のポイント	p. 2
3. 第2四半期 業績の状況	p. 3
4. 主な子会社の業績と予想	p. 4
5. 主要製品売上の状況	p. 5
6. 開発品一覧	p. 6～8
7. セグメント情報	p. 9
8. 第2四半期 業績と予想	p. 10
9. 損益計算書の概要	p. 11～12
10. 貸借対照表の概要	p. 13
11. 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況	p. 14
12. 主な業績項目の推移	p. 15
13. 杏林製薬資料	p. 16～19
10. キョーリン製薬ホールディングス個別業績と予想	p. 20

2010年11月9日

キョーリン製薬ホールディングス株式会社



# 2011年3月期 第2四半期 決算概観(連結)

単位:(百万円)

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期	前年比	11年3月期 修正予想	前年比	11年3月期 当初予想	前年比
売上高	39,363	40,261	45,714	46,707	2.2%	101,800	2.0%	100,300	0.5%
営業利益	2,788	1,243	4,569	4,201	△8.1%	14,700	10.8%	12,700	△4.2%
経常利益	3,118	1,175	5,172	4,542	△12.2%	15,300	7.5%	13,400	△5.9%
当期純利益	953	△1,601	3,293	2,959	△10.1%	9,700	9.6%	8,500	△3.9%

## 11年3月期 第2四半期 連結業績(実績)

【売上高】 医療用医薬品において薬価改定が実施されましたが、国内新医薬品は主要製品の普及拡大に努め、薬価引下げの影響を上回る数量ベースでの伸びを示しました。また後発医薬品では、保険調剤薬局市場での販売が増加し、前年を上回る実績となりました。その結果、連結売上高は467億円(前年比2.2%増)となりました。

【利益】 売上高の増加、売上原価率の低減により売上総利益は増加しましたが、研究開発費の増加(前年比21.3%増)により、営業利益は42億円(前年比8.1%減)、四半期純利益は30億円(前年比10.1%減)となりました。

## 11年3月期 連結業績(予想)

【売上高】 ヘルスケア事業の売上減少が予想されるものの、医薬品事業では新医薬品(国内、海外)における主要製品が下期も好調に推移する見込みであり売上増を予想します。その結果、売上高は1,018億円(前年比2.0%増)を見込みます。

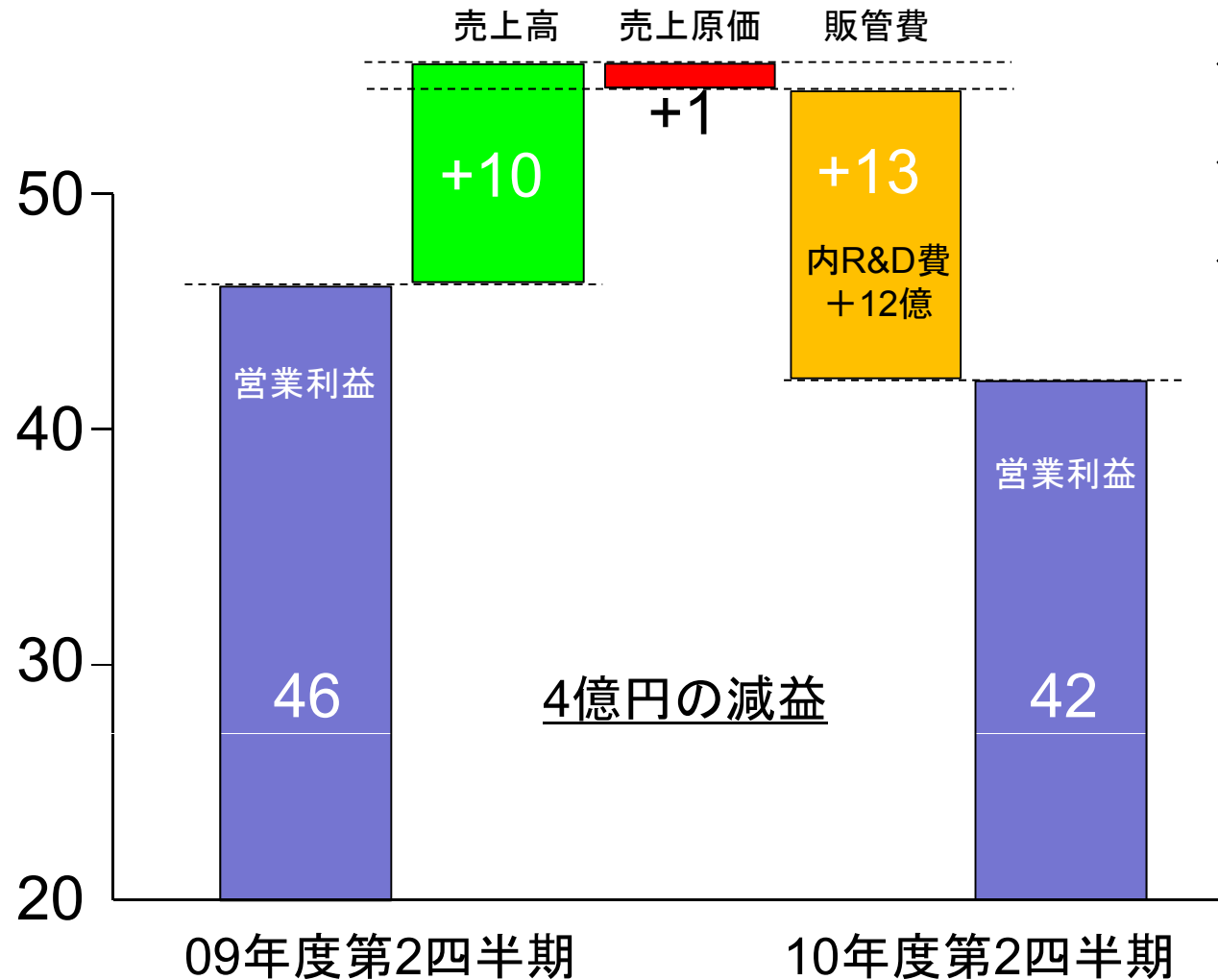
【利益】 販売費及び一般管理費は研究開発費が増えること等から増加を見込みますが、売上高の増加と売上原価率の低減による売上総利益の増加により、営業利益は147億円(前年比10.8%増)、当期純利益は97億円(前年比9.6%増)となる見込みです。

当第2四半期累計期間の業績を勘案し、平成22年5月11日付け「平成22年3月期 決算短信」にて公表しました平成23年3月期の連結業績予想を上記の通り修正しました。

# 2011年3月期 第2四半期 業績のポイント

(単位: 億円)

◆売上高: 薬価改定(杏林製薬: 6%)を吸収し、前年比10億円増



◆売上原価は1億円増

◆売上総利益が9億円増

◆販管費は13億円増  
(うち、R&D費が12億円増)

# 2011年3月期 第2四半期 業績の状況

単位: 億円

	10年3月期 第2四半期 (実績)	11年3月期 第2四半期 (実績)	対前年
売上高(合計)	457	467	+10
医薬品事業	441	454	+13
◆新医薬品	380	392	+12
○国内	367	377	+10
○海外	13	15	+2
◆後発医薬品	36	41	+5
◆一般用医薬品他	25	20	△5
ヘルスケア事業 (スキンケア)	16	13	△3
営業利益	46	42	△4
経常利益	52	45	△7
当期純利益	33	30	△3

(注1) 上記内容は簡便的に前年実績を組み替え、当第2四半期連結累計期間の実績と比較しています

(注2) 当第2四半期のセグメント【ヘルスケア事業】に属する製品・サービスの内容は、2010年3月期決算までの開示内容と異なっております

			対前年
■売上高	467億円		(+10)
◆医薬品事業	454億円		(+13)
●国内新医薬品	377億円		(+10)
		10.3(2Q)実績	11.3(2Q)実績
・キプレス		127	⇒ 141 (+14)
・ムコダイン		93	⇒ 94 (+1)
・ペンタサ		97	⇒ 99 (+2)
・ウリトス		16	⇒ 24 (+8)
●海外新医薬品	15億円		(+2)
・ガチフロキサシン		11	⇒ 13 (+2)
●後発医薬品	41億円		(+5)
* 保険調剤薬局市場での販売が好調			
●一般用医薬品他	20億円		(△5)
* ミルトン、杏文堂の売上減			
(注) 2010年度より適用する報告セグメントにおいて当該売上区分に杏文堂を含みます。			
◆ヘルスケア事業	13億円		(△3)
●ドクタープログラムの上乗減少			(△3)
■営業利益	42億円		(△4)
◆営業利益率は9.0%と1.0ポイント低下			
●原価率は0.7ポイント低下 (37.3%⇒36.6%)			
上昇要因: 薬価改定(6%台)			
低下要因: 原価率の低い自社製品の売上増加、キョーリンリメディオの原価率低下			
●研究開発費率: 前年比2.3ポイント上昇 (12.4%⇒14.7%)			
* 57億円⇒69億円(約12億円増加)			
開発パイプラインの進展(KRP-108 Ph2b 終了など)			
●販管費率(除R&D費): 前年比0.6ポイント低下 (40.3%⇒39.7%)			
* 184億円⇒185億円			
■当期純利益	30億円		(△3)
■配当(第2四半期末)	10円00銭		

# 主な子会社の業績と予想

(単位:億円)

杏林製薬
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
395	408
48	39
38	29

10年3月期	11年3月期 (修正予想)
853	908
131	140
95	96

11年3月期 (当初予想)
873
123
84

キョーリン リメディオ
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期 ※1
41	52
1	4
1	4

10年3月期 ※2	11年3月期 (修正予想)
101	98
4	5
4	5

11年3月期 (当初予想)
89
2
1

ドクタープログラム
売上高
営業利益
四半期純利益

10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
16	13
△2	0
△2	0

10年3月期	11年3月期 (修正予想)
33	28
△1	0
△1	0

11年3月期 (当初予想)
37
2
2

※1: 卸店販売ルート of 杏林製薬(株)への統合(10月1日)に伴い、初期在庫分として約6億円を売上計上しています

※2: キョーリン リメディオの2010年3月期業績は決算期変更に伴い14ヶ月分を計上

# 2011年3月期 第2四半期

# 主要製品売上の状況



(単位:億円)

		08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期		10年3月期	11年3月期 (修正予想)	11年3月期 (当初予想)
					実績	前 同 比			
国内 新医薬品	キプレス (ロイコトリエン受容体拮抗剤)	79	104	127	141	10.6%	292	322	314
	ムコダイン (去痰剤)	90	87	93	94	1.0%	209	218	214
	ペンタサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	44	71	97	99	1.4%	194	195	201
	ウリス(自社販売) (過活動膀胱治療剤)	5	6	16	24	54.2%	37	55	51
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害治療剤)	28	26	23	20	△15.2%	46	39	40
海外 新医薬品	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	16	14	11	13	13.7%	22	22	13
一般用 医薬品	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	10	9	10	9	△10.0%	19	19	21

# 開発品一覧①(2010年11月9日現在)

Ph II ~ 申請中

※: 前回(2011年3月期 第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬 効	起 源	特 徴	備 考
国内	海外					
Ph III (09年12月)		ペンタサ錠	潰瘍性大腸炎	フェリング社	寛解期潰瘍性大腸炎を対象とした新用法用量 (1日1回投与)	
Ph III※ (10年8月)	(米国) スカイファーマ : 申請中(09年3月) (欧州) ムンディファーマ : 申請中(10年3月)	KRP-108 (吸入剤)	気管支喘息 治療剤	スカイファーマ社	ステロイド及び長時間作用型β作動薬の配合剤で利 便性やコンプライアンスに優れる	・スカイファーマ社とライセン ス契約(08年4月) ・国内Ph II 終了(10年4月)
Ph II (05年3月)	エーザイ: Ph III	AS-3201 (錠)	糖尿病合併症 治療剤	大日本住友製薬	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞 内のソルビトール蓄積を抑制し、糖尿病性神経障害 を改善する	・大日本住友製薬と 共同開発(国内のみ)
Ph II (08年2月)	Ph II (07年9月)	KRP-104	糖尿病治療剤	自社	DPPIV阻害剤。インスリン分泌ホルモンの分解を抑え ることにより血糖低下作用を示す。副作用の発現が 少ない糖尿病治療が期待される	・海外Ph II b開始 (09年11月) ・国内Ph II b終了(10年3月)

## その他の事項

・過活動膀胱治療剤「イミダフェナシン(一般名)」の口腔内崩壊錠

: 2009年12月 承認申請

# 開発品一覧②(2010年11月9日現在)

POCプロジェクト(前臨床～Ph I)

※: 前回(2011年3月期 第1四半期)からの変更点を示す

開発段階		製品名・ 開発コード	薬効	起源	特徴	備考
国内	海外					
	Ph I ※ (10年8月)	KRP-110	オピオイド誘発性 便秘 難治性掻痒	自社	選択性の高いμオピオイド受容体拮抗薬。オピオイド鎮痛薬の鎮痛作用には影響することなく、副作用の便秘を改善することが期待される。また、種々の掻痒モデルにおいて掻き行動の抑制作用が確認されており、難治性掻痒の改善が期待される。	
Ph I 準備中	Ph I (07年7月)	KRP-203	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD※	自社	S1P受容体アゴニスト。新規メカニズムを有する免疫調整剤。既存の免疫抑制剤に比べて安全性が高く、かつ優れた併用効果が期待される	ノバルティス社と ライセンス契約(06年2月) ※新たなライセンス契約 IBD(10年11月)
Ph II 準備中	Ph III (Merz社)	KRP-209	耳鳴	Merz社	NMDA受容体拮抗作用及びニコチン作動性アセチルコリン受容体拮抗作用を有し、耳鳴に伴う心理的な苦痛、生活障害の改善が期待される	メルツ社とライセンス契約 (09年11月) メルツ社: 日本人を 対象とした米国でのPh I を終了(10年3月)



# 開発品一覧③(2010年11月9日現在)

## 導出品の状況

※: 前回(2011年3月期 第1四半期)からの変更点を示す

製品名・ 開発コード	導出先・ 共同研究先	開発段階	薬効	起源	備考
アルファガン/ アルファガンP	千寿製薬	国内PhⅢ (07年7月)	緑内障治療薬	米国 アラガン社	・アラガン社より導入 (ガチフロキサシン点眼液のクロスライセンス) ・千寿製薬に導出(04年5月)
ケタス	米国 メディシノバ社	海外PhⅡ (05年8月)	脳血管障害治療薬	自社	・多発性硬化症の適応での日本、中国、韓国、 台湾を除く全世界における独占的な開発、製造販 売権を供与(04年10月) 08年4月 PhⅡの結果を公表
KCA-757	米国 メディシノバ社	海外PhⅢ (気管支喘息: 06年11月) 海外PhⅡ/Ⅲ (間質性膀胱炎: 05年5月)	気管支喘息治療薬 間質性膀胱炎治療薬	自社	・日本、中国、韓国、台湾を除く全世界に おける独占的な開発、販売権を供与 ・間質性膀胱炎:07年1月に結果を公表、 開発を中断 ・気管支喘息:海外PhⅢ一旦停止
KRP-203	スイス ノバルティス社	海外PhⅠ (07年7月)	自己免疫疾患、 臓器移植 IBD※	自社	・移植用の免疫調節剤として、全世界の開発及び 販売権、自己免疫疾患及びその他の疾患用剤とし て、日本、中国、韓国、台湾を除く全世界の 開発及び販売権(06年2月) ※新たなライセンス契約 IBD(10年11月)

# 参考資料

# 2011年3月期 第2四半期 セグメント情報

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失

単位:億円

	売上高		セグメント利益	
	金額	対前年	金額	対前年
売上高合計	467	+10	42	△4
医薬品事業計	454	+13	40	—
◆新医薬品	392	+12		
○国内	377	+10		
○海外	15	+2		
◆後発医薬品	41	+5		
◆一般用医薬品他	20	△5		
ヘルスケア事業計	13	△3	+0	—
調整額	—		1	—

(注1) 当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用し、報告セグメントは【医薬品事業】【ヘルスケア事業】としております

(注2) 上記内容は簡便的に前年実績を組み換え、当第2四半期実績と比較しています

# 2011年3月期 第2四半期 業績と予想(連結)

(単位:百万円)

	中間期				通期		
	09年度 (実績)	10年度 (実績)	前年 差額	前年比	09年度 (実績)	10年度 (修正予想)	10年度 (当初予想)
売上高	45,714	46,707	+992	2.2%	99,764	101,800	100,300
<b>医薬品事業</b>	44,115	45,373	+1,257	2.9%	96,421	99,000	96,500
◆新医薬品	38,011	39,208	+1,196	3.1%	82,395	86,300	84,300
○国内	36,733	37,708	+974	2.7%	79,766	83,600	82,500
○海外	1,278	1,500	+222	17.4%	2,629	2,700	1,700
◆後発医薬品	3,584	4,115	+530	14.8%	8,642	8,500	7,600
一般用医薬品他	2,519	2,049	△469	△18.6%	5,384	4,100	4,500
<b>ヘルスケア事業</b>	1,599	1,333	△265	△16.6%	3,342	2,800	3,700
営業利益	4,569	4,201	△368	△8.1%	13,261	14,700	12,700
経常利益	5,172	4,542	△629	△12.2%	14,234	15,300	13,400
当期純利益	3,293	2,959	△334	△10.1%	8,848	9,700	8,500

(注)上記内容は簡便的に前年実績を組み替え、当第2四半期および通期連結実績と比較しています

# 損益計算書の概要：連結①

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	45,714	100.0%	46,707	100.0%	2.2%	992
医薬品事業	44,115	96.5%	45,373	97.1%	2.9%	1,257
◆新医薬品	38,011	83.1%	39,208	83.9%	3.1%	1,196
○国内	36,733	80.4%	37,708	80.7%	2.7%	974
○海外	1,278	2.8%	1,500	3.2%	17.4%	222
◆後発医薬品	3,584	7.8%	4,115	8.8%	14.8%	530
◆一般用医薬品他	2,519	5.5%	2,049	4.4%	△18.7%	△469
ヘルスケア事業	1,599	3.5%	1,333	2.9%	△16.6%	△265

## <適応範囲及び持分法の適用について>

連結子会社7社：杏林製薬(株) (株)杏文堂  
Kyorin USA, Inc. Kyorin Europe GmbH  
ActivX Biosciences, Inc.  
キョーリンリメディオ(株)  
ドクタープログラム(株)

持分法適用会社1社：日本理化学薬品(株)

## <当期のポイント>

## 対前年

■売上高 46,707百万円 ( + 992百万円)

●国内新医薬品 39,208百万円 (+ 1,196百万円)

前期実績 当期実績(億円)

・キプレス 127 → 141 (+14)

・ムコダイン 93 → 94 (+1)

・ペンタサ 97 → 99 (+2)

・ウリトス 16 → 24 (+8)

●海外新医薬品 1,500百万円 (+ 222百万円)

・ガチフロキサシン 11 → 13 (+2)

●後発医薬品 4,115百万円 (+ 530百万円)

\* 保険調剤薬局市場での販売が好調

●一般用医薬品 2,049百万円 (△ 469百万円)

\* ミルトン、杏文堂等の売上減

●ヘルスケア 1,333百万円 (△ 265百万円)

・ドクタープログラムの売上減

16 → 13 (△ 3)

# 損益計算書の概要：連結一②

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	45,714	100.0%	46,707	100.0%	2.2%	992
売上原価	17,035	37.3%	17,083	36.6%	0.3%	48
売上総利益	28,679	62.7%	29,623	63.4%	3.3%	944
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	24,109 (5,670)	52.7% 12.4%	25,422 (6,879)	54.4% 14.7%	5.4% (21.3%)	1,312 (1,208)
営業利益	4,569	10.0%	4,201	9.0%	-8.1%	△368
営業外収益	671	1.5%	389	0.8%	△42.1%	△282
営業外費用	69	0.2%	47	0.1%	△30.8%	△21
経常利益	5,172	11.3%	4,542	9.7%	△12.2%	△629
特別利益	9	0.0%	25	0.1%	163.4%	15
特別損失	50	0.1%	11	0.0%	△77.2%	△38
税金等調整前 四半期純利益	5,131	11.2%	4,556	9.8%	△11.2%	△575
法人税・住民税 及び事業税	2,129	4.6%	1,405	3.0%	△34.0%	△723
法人税等調整額	△290	△0.6%	191	0.4%	—	482
四半期純利益	3,293	7.2%	2,959	6.3%	△10.1	△334

## <当期のポイント>

◆原価率：前年比0.7ポイント低下  
(37.3%→36.6%)

\* 低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加、  
キョーリンリメディオの原価率低下

◆研究開発費率：前年比2.3ポイント上昇  
(12.4%→14.7%)

\* 57億円→69億円(約12億円増加)  
開発パイプラインの進展(KRP-108Ph2b終了など)

◆販管費率(除R&D費)：前年比0.6ポイント低下  
(40.3%→39.7%)

\* 184億円→185億円(1億円増加)

■営業利益 4,201百万円  
(△368百万円)

\* 営業利益率は9.0%と1.0ポイント低下

■四半期純利益 2,959百万円  
(△334百万円)

■配当(第2四半期末) 10円00銭

# 貸借対照表の概要：連結

(単位：百万円)

	10年3月期		11年3月期第2四半期(連結)会計期間末		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>91,060</b>	<b>66.4%</b>	<b>83,504</b>	<b>65.0%</b>	<b>△7,556</b>
現金および預金	20,193		18,299		
受取手形及び売掛金	36,859		32,382		
有価証券	5,353		5,471		
棚卸資産	21,874		20,585		
その他流動資産	6,779		6,764		
<b>固定資産</b>	<b>46,129</b>	<b>33.6%</b>	<b>45,037</b>	<b>35.0%</b>	<b>△1,091</b>
有形固定資産	15,825		15,347		
無形固定資産	1,024		858		
投資その他	29,278		28,831		
<b>資産合計</b>	<b>137,190</b>	<b>100.0%</b>	<b>128,541</b>	<b>100.0%</b>	<b>△8,648</b>
<b>流動負債</b>	<b>26,198</b>	<b>19.1%</b>	<b>18,338</b>	<b>14.3%</b>	<b>△7,860</b>
支払手形及び買掛金	9,858		5,816		
その他流動負債	16,340		12,522		
<b>固定負債</b>	<b>6,079</b>	<b>4.4%</b>	<b>5,541</b>	<b>4.3%</b>	<b>△538</b>
<b>負債合計</b>	<b>32,278</b>	<b>23.5%</b>	<b>23,879</b>	<b>18.6%</b>	<b>△8,399</b>
<b>株主資本</b>	<b>104,907</b>	<b>76.5%</b>	<b>104,871</b>	<b>81.6%</b>	<b>△36</b>
評価・換算差額等	3	0.0%	△209	△0.2%	△212
<b>純資産合計</b>	<b>104,911</b>	<b>76.5%</b>	<b>104,662</b>	<b>81.4%</b>	<b>△249</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>137,190</b>	<b>100.0%</b>	<b>128,541</b>	<b>100.0%</b>	<b>△8,648</b>

## <当期のポイント>

### ■ 流動資産：7,556百万円減

- ・現金、預金の減少 (1,893百万円減)
- ・受取手形、売掛金の減少 (4,477百万円減)
- ・有価証券の増加 (118百万円増)
- ・棚卸資産の減少 (1,289百万円減)
- ・その他流動資産の減少 (14百万円減)

### ■ 固定資産：1,091百万円減

- ・有形固定資産の減少 (478百万円減)
- ・無形固定資産の減少 (165百万円減)
- ・投資その他の減少 (447百万円減)

### ■ 流動負債：7,860百万円減

- ・支払手形及び買掛金の減少 (4,042百万円減)
- ・その他流動負債の減少 (3,818百万円減)

### ■ 固定負債：538百万円減

# 研究開発費・設備投資・減価償却費の状況<連結>第2四半期



(単位:百万円)

	08年3月期 第2四半期	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期第2四半期		10年3月期 (実績)	11年3月期 (予想)	11年3月期 (当初予想)
				実績	増減比			
研究開発費	5,676	4,968	5,670	6,879	21.3%	11,807	12,600	13,400
設備投資 (計上ベース)	1,451	1,115	709	633	△10.7%	1,291	2,400	1,700
減価償却費	2,214	2,028	1,362	1,163	△14.6%	2,810	2,500	2,600

## <設備投資の状況(実績/計画)>

	10年3月期	11年3月期	
	実績	第2四半期実績	通期計画
(実績)			
工場設備	7億円	3億円	
管理・販売設備	2億円	1億円	
研究用設備	4億円	2億円	
(実績/計画)			
工場設備			13億円
管理・販売設備			6億円
研究用設備			5億円



# 主な業績項目の推移：連結

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	40,261 (1,835)	45,714 (1,305)	46,707 (1,500)
売上原価 (売上原価率)%	17,718 (44.0%)	17,035 (37.3%)	17,083 (36.6%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	21,298 (52.9%)	24,109 (52.7%)	25,422 (54.4%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,968 (12.3%)	5,670 (12.4%)	6,879 (14.7%)
営業利益 (営業利益率)%	1,243 (3.1%)	4,569 (10.0%)	4,201 (9.0%)
経常利益 (経常利益率)%	1,175 (2.9%)	5,172 (11.3%)	4,542 (9.7%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	△1,606 (△4.0%)	3,293 (7.2%)	2,959 (6.3%)
一株当たり当期利益(円)	△21.48円	44.05円	39.59円
資本金	700	700	700
総資産	123,299	127,728	128,541
純資産	94,304	100,024	104,662
一株当たり純資産(円)	1,260.93円	1,338.01円	1,400.35円
自己資本利益率%	△1.7%	3.3%	2.8%
自己資本比率%	76.5%	78.3%	81.4%
人員(人)	2,059人	2,262人	2,308人
設備投資	1,115	709	633
減価償却費	2,028	1,362	1,163

10年3月期	11年3月期 (予想)	11年3月期 (当初予想)
99,764 (3,830)	101,800 (2,700)	100,300 (1,800)
37,477 (37.6%)	—	—
49,025 (49.1%)	—	—
11,807 (11.8%)	12,600 (12.4%)	13,400 (13.4%)
13,261 (13.3%)	14,700 (14.5%)	12,700 (12.7%)
14,234 (14.3%)	15,300 (15.1%)	13,400 (13.4%)
8,848 (8.9%)	9,700 (9.6%)	8,500 (8.5%)
118.37円	129.78円	113.72円
700		
137,190		
104,911		
1,403.60円		
8.8%		
76.5%		
2,246人		
1,291	2,400	1,700
2,810	2,500	2,600

# 損益計算書の概要：杏林製薬①

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
医薬品事業	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
◆新医薬品	37,998	96.1%	39,168	96.1%	3.1%	1,170
○国内	36,733	92.9%	37,708	92.5%	2.7%	974
○海外	1,264	3.2%	1,460	3.6%	15.5%	195
◆後発医薬品	210	0.5%	290	0.7%	38.0%	80
◆一般用医薬品	1,337	3.4%	1,300	3.2%	△2.8%	△36

## <当期のポイント>

## 対前年

■ 売上高	40,759百万円	(+ 1,213百万円)
● 国内新医薬品	39,168百万円	(+ 1,170百万円)
	前期実績	当期実績 (億円)
・ キプレス	127	→ 141 (+14)
・ ムコダイン	93	→ 94 (+1)
・ ペンタサ	97	→ 99 (+2)
・ ウリトス	16	→ 24 (+8)
● 海外新医薬品	1,460百万円	(△ 195百万円)
・ ガチフロキサシン	11	→ 13 (+2)
● 後発医薬品	290百万円	(+ 80百万円)
● 一般用医薬品	1,300百万円	(△ 36百万円)
・ ミルトン	10	→ 9 (△1)

# 損益計算書の概要：杏林製薬一②

(単位：百万円)

	10年3月期 第2四半期		11年3月期 第2四半期累計期間			
	実績	売上比	実績	売上比	前同比	前年増減額
売上高	39,545	100.0%	40,759	100.0%	3.1%	1,213
売上原価	13,183	33.3%	13,521	33.2%	2.6%	338
売上総利益	26,361	66.7%	27,237	66.8%	3.3%	875
販売費及び一般管理費 (うち研究費)	21,603 (5,388)	54.6% 13.6%	23,359 (6,496)	57.3% 15.9%	8.1% (20.6%)	1,755 (1,107)
営業利益	4,757	12.0%	3,878	9.5%	△18.5%	△879
営業外収益	949	2.4%	586	1.4%	△38.2%	△362
営業外費用	37	0.1%	21	0.1%	△43.0%	△16
経常利益	5,669	14.3%	4,443	10.9%	△21.6%	△1,225
特別利益	0	0.0%	7	0.0%	△99.3%	7
特別損失	25	0.1%	10	0.0%	△57.6%	△14
税引前 四半期純利益	5,644	14.3%	4,440	10.9%	△21.3%	△1,204
法人税・住民税 及び事業税	2,118	5.4%	1,372	3.4%	△35.2%	△746
法人税等調整額	△290	△0.7%	159	0.4%	△154.8%	449
四半期純利益	3,816	9.6%	2,908	7.1%	△23.8%	△907

## <当期のポイント>

- ◆原価率：前年比 0.1ポイント低下  
(33.3%→33.2%)  
\*低下要因：原価率の低い自社製品の売上増加
- ◆研究開発費率：前年比 2.3ポイント上昇  
(13.6%→15.9%)  
\*54億円→65億円(11億円増加)  
増加要因：開発パイプラインの進展(KRP-108Ph2b終了など)
- ◆販管費率(除R&D費)：前年比0.4ポイント増加  
(41.0%→41.4%)  
\*162億円→169億円(7億円増加)
- 営業利益 3,878百万円  
(△879百万円)  
\*営業利益率は9.5%と2.4ポイント低下
- 四半期純利益 2,908百万円  
(△907百万円)

# 貸借対照表の概要：杏林製薬

(単位:百万円)

	10年3月期		11年3月期第2四半期累計期間		
	実績	構成比	実績	構成比	前期末増減
<b>流動資産</b>	<b>78,422</b>	<b>65.4%</b>	<b>68,912</b>	<b>63.0%</b>	<b>△9,509</b>
現金および預金	15,313		11,604		
売掛金	33,088		28,926		
有価証券	5,290		5,408		
棚卸資産	19,147		17,724		
その他流動資産	5,581		5,248		
<b>固定資産</b>	<b>41,400</b>	<b>34.6%</b>	<b>40,400</b>	<b>37.0%</b>	<b>△999</b>
有形固定資産	12,847		12,326		
無形固定資産	328		262		
投資その他	28,225		27,811		
<b>資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>	<b>109,313</b>	<b>100.0%</b>	<b>△10,509</b>
<b>流動負債</b>	<b>19,003</b>	<b>15.9%</b>	<b>11,453</b>	<b>10.5%</b>	<b>△7,550</b>
支払手形及び買掛金	6,849		2,825		
その他流動負債	12,154		8,628		
<b>固定負債</b>	<b>5,312</b>	<b>4.4%</b>	<b>4,814</b>	<b>4.4%</b>	<b>△498</b>
<b>負債合計</b>	<b>24,316</b>	<b>20.3%</b>	<b>16,268</b>	<b>14.9%</b>	<b>△8,048</b>
<b>株主資本</b>	<b>95,384</b>	<b>79.6%</b>	<b>93,095</b>	<b>85.2%</b>	<b>△2,289</b>
評価・換算差額等	120	0.1%	△50	△0.1%	△170
<b>純資産合計</b>	<b>95,505</b>	<b>79.7%</b>	<b>93,044</b>	<b>85.1%</b>	<b>△2,460</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>119,822</b>	<b>100.0%</b>	<b>109,313</b>	<b>100.0%</b>	<b>△10,509</b>

## <当期のポイント>

- 流動資産： 9,509百万円減
  - ・現金及び預金の減少 (3,709百万円減)
  - ・売掛金の減少 (4,162百万円減)
  - ・有価証券の増加 (118百万円増)
  - ・棚卸資産の減少 (1,422百万円減)
- 固定資産： 999百万円減
  - ・有形固定資産の減少 (520百万円減)
  - ・無形固定資産の減少 (65百万円減)
  - ・投資その他の減少 (413百万円減)
- 流動負債： 7,550百万円減
  - ・支払手形及び買掛金の減少 (4,023百万円減)
  - ・その他流動負債の減少 (3,526百万円減)
- 固定負債： 498百万円減

# 主な業績項目の推移: 杏林製薬

(単位:百万円)

	09年3月期 第2四半期	10年3月期 第2四半期	11年3月期 第2四半期
売上高 (輸出高)	34,425 (1,758)	39,545 (1,264)	40,759 (1,460)
売上原価 (売上原価率)%	14,096 (40.9%)	13,183 (33.3%)	13,521 (33.2%)
販売費及び一般管理費 (販管费率)%	18,642 (54.2%)	21,603 (54.6%)	23,359 (57.3%)
うち研究開発費 (研究開発费率)%	4,508 (13.1%)	5,388 (13.6%)	6,496 (15.9%)
営業利益 (営業利益率)%	1,685 (4.9%)	4,757 (12.0%)	3,878 (9.5%)
経常利益 (経常利益率)%	2,125 (6.2%)	5,669 (14.3%)	4,443 (10.9%)
四半期(当期)純利益 (四半期(当期)純利益率)%	△280 (△0.8%)	3,816 (9.6%)	2,908 (7.1%)
一株当たり当期利益(円)	△3.78円	51.38円	39.17円
資本金	4,317	4,317	4,317
総資産	106,478	110,669	109,313
純資産	85,356	90,466	93,044
一株当たり純資産(円)	1,149.31円	1,218.11円	1,252.82円
自己資本利益率%	△0.3%	4.2%	3.1%
自己資本比率%	80.2%	81.7%	85.1%
人員(人)	1,567人	1,733人	1,811人
設備投資	577	624	300
減価償却費	1,656	1,071	932

10年3月期	11年3月期 (修正予想)	11年3月期 (当初予想)
85,308 (2,563)	90,800 (2,500)	87,300 (1,600)
28,374 (33.3%)	—	—
43,795 (51.3%)	—	—
11,121 (13.0%)	11,800 (13.0%)	12,600 (14.4%)
13,139 (15.4%)	14,000 (15.5%)	12,300 (14.1%)
14,580 (17.1%)	15,100 (16.7%)	13,300 (15.2%)
9,472 (11.1%)	9,600 (10.6%)	8,400 (9.6%)
127.54円		
4,317		
119,822		
95,505		
1,285.95円		
10.3%		
79.7%		
1,724人		
1,051	1,300	1,200
2,198	2,000	2,000

# キョーリン製薬ホールディングス(株) 個別業績と予想



単位:百万円

	2010年3月期 第2四半期 (実績)	2011年3月期 第2四半期 (実績)
営業収益	4,008	6,409
営業利益	2,787	5,314
経常利益	2,731	5,338
当期純利益	2,840	5,322

	2010年3月期 (実績)	2011年3月期 (修正予想)	2011年3月期 (当初予想)
営業収益	6,082	12,800	8,300
営業利益	3,612	10,600	6,100
経常利益	3,577	10,600	6,100
当期純利益	2,743	10,500	6,100